

スマイル通信

第15号 平成21年10月1日発行

発行元:特定非営利活動法人スマイルネットワークさかい

理事長:田崎 健治

住所:〒919-0541 福井県坂井市坂井町東 24-22

Tel:0776-72-2282 Email:koryuctr@mx3.fctv.ne.jp

大切なのは自立心を持って生きること

世界恐慌を震え上がらせた昨年秋の米証券大手リーマンブラザーズの破綻から1年がたつ。100年に一度の経済危機を経て、世界は、そして日本(文化)はどこに向かうのでしょうか?

日本経済は戦後、国内の人口増加による国内需要増加と、先進国に勝る技術、勤勉さを誇る日本の文化でもって世界輸出の増加、この両輪でもって高度経済成長を持続させてくることができました。しかしながら、欧米の先進国主導の世界経済は終わりを告げ、中国、インド、ブラジルなどの発展途上国を含む地球規模のグローバル経済へと進展しています。

国政では、55年体制からの自民党政権から民主党政権へと転換され、国内の財政問題、年金、少子高齢化社会、生活の二極化など多くの問題を抱え、国民の生活、心も、何かしら自己中心型で地域を思いやる、人と人との関わりなどの日本人としての心の文化を忘れる淋しさを感じています。

私が子どもの頃、風呂屋に向えば路上で大人たちが集い、将棋で人が集い、風呂の中では大人も子どもも語り、秋には家族こぞって稲刈りを手伝い、地域全体が触れ合いの場であり、その様にして育ってきたと思われます。子ども達は、地域と大人との触れ合いによって育

てきたのです。

障害児を抱える家族の皆様、それらに関わる皆様、本当にご苦勞様です。日本は高度経済成長の中、それらの福祉政策もそれなりに成長してきております。しかしながら、本当に本人のための政策、事業内容でありましょうか。当人が将来の夢を持ち、それらを実現するための自立心を持たせることが一番大事なことだと思われます。

教育やその期間だけではなく、大人になってからの自立、職業の場の提供、そして仕事をしていく中で地域に貢献できてこそ(生き甲斐)、初めて人としての喜びを感じるのではないのでしょうか。

ともすれば、一般社会の民主化の波に障害者だけが取り残され、経済優先、能力万能の効率主義の社会通念では、どうにも律しきれものではないのは、あまりにも明らかだと思われます。

今後生活の支えを必要とする方々には国はもとより、関係機関、地域がしっかり連携をとり合い、社会生活支援を続けられるような手立てがますます必要になってくるのではないのでしょうか。

理事 山口 良治

夏休みを終えて

夏の訪れがいつもの年より遅かった今年の夏休み。大きな事故もなく過ごすことができました。

受入れは8時から18時、17~19名の子ども達が利用する中、毎日のように子ども達と午前、午後のドライブに出かけました。福井市街、三国方面、加賀市小松方面に出かけ、歌ったり手を叩き賑やかに車内で過ごす中、思わぬ発見をしたことが何度もありました。子ども同士のコミュニケーションが生まれる、そんなドライブの大切さを改めて認識しました。帰りの車の中でバックミラー越しにスヤスヤと眠る姿を眺めながら、子どもたちに癒されていました。

盆明けからはインフルエンザの対応に追われましたが、その後は平常に戻り、今はほっと一息といったところです。子ども達の日頃の活動については写真を通して知って頂ければ幸いです。

今後、新しい利用者が増えてまいります。利用される方々には公平に利用して頂くことも併せて考えております。会員皆様のセンターとして運営してまいりたいと思ひます。今後ともよろしくお願い致します。

黒坂 輝雄

かかし作りコンテストに参加して

本年度より保護者会の役員で、さかい夏祭りで開催されている「かかし作りコンテスト」に参加することになりました。全員がほぼ素人であるため、子ども達に人気のアンパンマンを作るということだけは決まりましたが、「本当にまともなものが完成するのだろうか…」と不安いっぱいの中でのスタートとなりました。案の定、とりあえず指示だけ出している人、差し入れのお菓子の方に関心がある人、かかしの横で暴れている子ども達、誰がどんな失敗をしようとする人など、「そんでいい」と言って先に進めようとする人などがいて、ますます完成が遠のいていくような感じでした。

しかし、しだいに骨格が出来上がってきたり、子ども達に励まされたりしてくると、ようやくエンジンがかかりだし、

はずかしくないものを作ろうという熱意が満ち溢れてきました。そして祭り当日、残念ながら賞をいただくことはできませんでしたが、役員全員「来年こそは…」と雪辱を誓っているのです。(今もそう思っているかは不明ですが…。)

役員だけでは役者不足なので、来年はご都合がつく保護者の人はどなたでも、是非ご協力をいただきたいと思います。



坪田 憲泰

事故なしでおねがいます!

9月5日(土)坂井体育館前で開設された交通安全茶屋に、坂井交通安全協会坂井支部の方々といっしょに有馬さん親子、加藤君親子が参加しました。センターの農園で獲れた梨をドライバーに渡し、「事故なしをお願いします!」とメッセージを込めました。

有馬さんも加藤君も初めはお家の方と一緒に手渡していましたが、慣れてくると「どうぞ」と言葉を添えてドライバーに手渡し、にっこりスマイルも出てきました。暑い日差しの中でしたが、社会参加活動にいい汗を流しました。



お楽しみ収穫祭に参加して

9月27日、まだ夏の余韻が残る秋晴れの中、夫婦、子ども達で芋掘り会に参加しました。

午前中は焼き芋に挑戦。隆一さんと咲希ちゃんが手伝ってくれて、思ったより上手に焼き上がりました。

昼食では、その焼き芋や特製のいも汁などに舌鼓。有希ちゃんはおにぎり、フランクフルトに夢中でした。

午後はアイビー医療福祉専門学校のお兄さんお姉さんたちによるゲームがあり、子ども達は大いにはしゃいでいました。

今回はこれまでも増して多くの方が参加されて、より一層盛り上がったように感じました。これからも子ども達と共に、センターの行事に参加させていただき、また楽しみたいと思います。ありがとうございました。

加藤 隆弘

●今後の予定●

10月4日(日) 心身連青空教室

10月24日(土) 第4回保護者会研修会

午前10時~12時(その後軽食をはさみながら座談会の予定です)



10月1日(木) ショッピングセンターアミにおいて、赤い羽根共同募金運動開始式がありました。

スマイルネットワークさかいは、平成22年度助成の内定をいただくことができました。

地域の方のあらゆる形(募金、ボランティアなど)での支えによって、活動を進めることができている。地域の方のご理解と力強い応援を受けながら、障害を持つ方たちにそっと寄り添い、ずっと支援が続けられるように「地域の拠点づくり」を目指していきます。

